

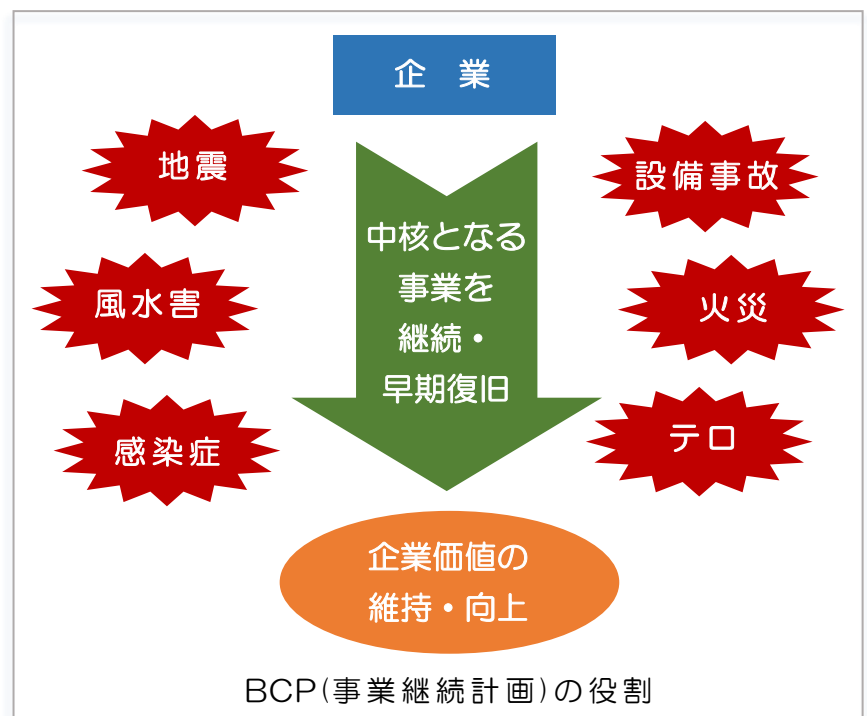
BCP(事業継承計画)策定のすすめ

9月8日に非常に強い台風15号が千葉県に上陸して、甚大な被害を及ぼしました。雨よりも風が大きな被害をもたらし、最大瞬間風速57m/sの強風で送電線2本が倒壊し、2,000本以上の電柱が倒壊や損傷し、停電は最大64万戸という過去にない規模でした。停電の復旧に長い日数がかかったこと、また最大12万戸の断水も長期間続き、多くの住民を苦しめました。人的被害は死者1名、重軽傷者132名、建物被害は11,000件以上の住宅などが全半壊しました。

停電が長期間復旧せず、通信網が途絶えた地域からは被害の報告が出来ず、状況が正確に把握できない状態が続いたことが更に被害を大きくしました。

千葉県内の知人のコンクリート会社も被災し、風で工場の屋根が飛ばされたそうです。しかも長期間に渡って停電や断水が続き、会社の生産活動は停止したままでした。社員の家も被災し、仕事どころではなかったと思います。今後の復旧には長い時間がかかるようです。

数年前から国は、BCP(事業継承計画)の策定を中小企業に勧めています。これは企業が自然災害や火災などの緊急事態に遭遇した場合において、事業の損害を最小限にとどめて、事業の継続あるいは早期復旧を可能にするために、日頃行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。緊急事態は突然発生するので、有効な手を打つことができなければ、経営基盤が脆弱な中小企業は廃業に追い込まれる恐れがあります。また、事業を縮小し従業員を解雇しなければならない状況も考えられます。

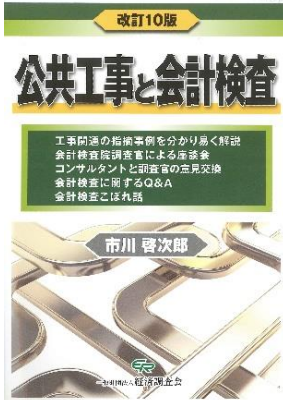


『 BCPの特徴 』

1. 優先して継続、復旧すべき中核事業を特定する
2. 緊急時における中核事業の目標復旧時間を定めておく
3. 緊急時に提供できるサービスのレベルについて顧客とあらかじめ協議しておく
4. 事業拠点や生産設備、仕入れ品調達の代替策を用意しておく
5. 全ての従業員と事業継続についてコミュニケーションを図っておく

鳥取県では、「鳥取県震災等対策アドバイザー派遣事業」という、希望する企業へ地震やその他災害への備えとして、専門家を招いてリスク診断やその対策についてアドバイスをする制度があります。それ以外にも発電装置を購入する際、費用の1/2助成する制度など、多岐にわたりサポートしてくれています。

これを機会に当社もBCP計画策定に挑戦するつもりです。ぜひ、皆さんもご検討をされてはいかがでしょうか。



会計検査

『公共工事と会計検査』の改訂10版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：名調査官必ずしも？

「名選手必ずしも名監督にあらず」プロ野球などの世界において昔から言われている言葉ですが、会計検査でも似たようなことが言われます。「名調査官必ずしも名副長にあらず」と。

かつて、会計検査の仕事は職人的調査官の手腕に支えられている側面が大きかったのです。会計検査で何より重視されたのは調査官個人の問題発掘能力です。会計検査を通じて検査対象機関に潜んでいる不経済となっている事実を暴き出し、さらには相手にその事実を認めさせる—こうした成果を毎年のように挙げる調査官が各課に存在していました。

また、こうした指摘は相手方の猛烈な抵抗に遭うことが多いのですが、反論を予測してあらかじめ相手方のキーパーソンを押さえ、落としどころまで用意していることも少なくありませんでした。これには当人の日頃の努力もさることながら、長年の経験を通じて培われた独特の勘によるものが大きく作用していたと言えます。そして、これら調査官に共通するのは、さまざまな困難、障害にめげずそれを粘り強く突破する力でした。

最近の会計検査業務は大きく様変わりしてきました。年初にあらかじめ何本ものテーマを定め、それを集団で計画的に検査遂行するという方法が主となっています。そんな会計検査ですから、職人とか一匹狼などと呼ばれる調査官は今や影をひそめ、調査官には何より調整能力が求められるようになってきていると言えます。

それにしても、昔も今も検査成果を世に発表するにはさまざまな困難、障害を克服していかなければなりません。調査官時代にこうした面で数多くの成功、失敗を重ねた副長がチームリーダーとして存在するかどうかは難しい仕事を成就させる上で不可避です。

名選手必ずしもと言いますが、実際今どのプロ野球球団の監督をみてもかつての名選手ばかりです。「名選手にあらずんば名監督たり得ず」という状況です。

ということから、名調査官こそが名副長になるということになるのでしょうか？ (K.I)



レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◆◆◆ 外フラット式マス ◆◆◆◆

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪

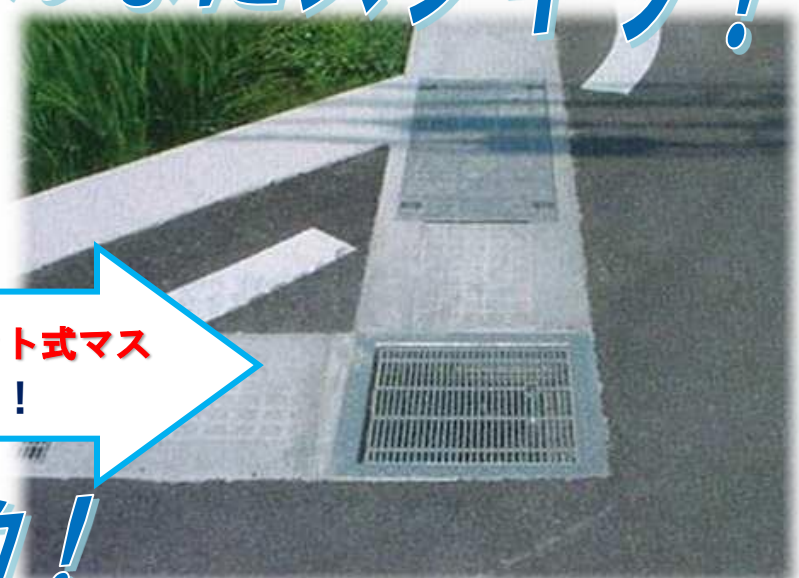
今月は『外フラット式マス』をご紹介します！

マスは、「泥溜め」や「水路の交差点」として使用されていますが、昨今の型枠大工さんの不足により現場打ちで作るのが困難なものになってきています。プレキャストマスならば、現場打ちの際に出る型枠材を廃材として処理をする必要もありません。

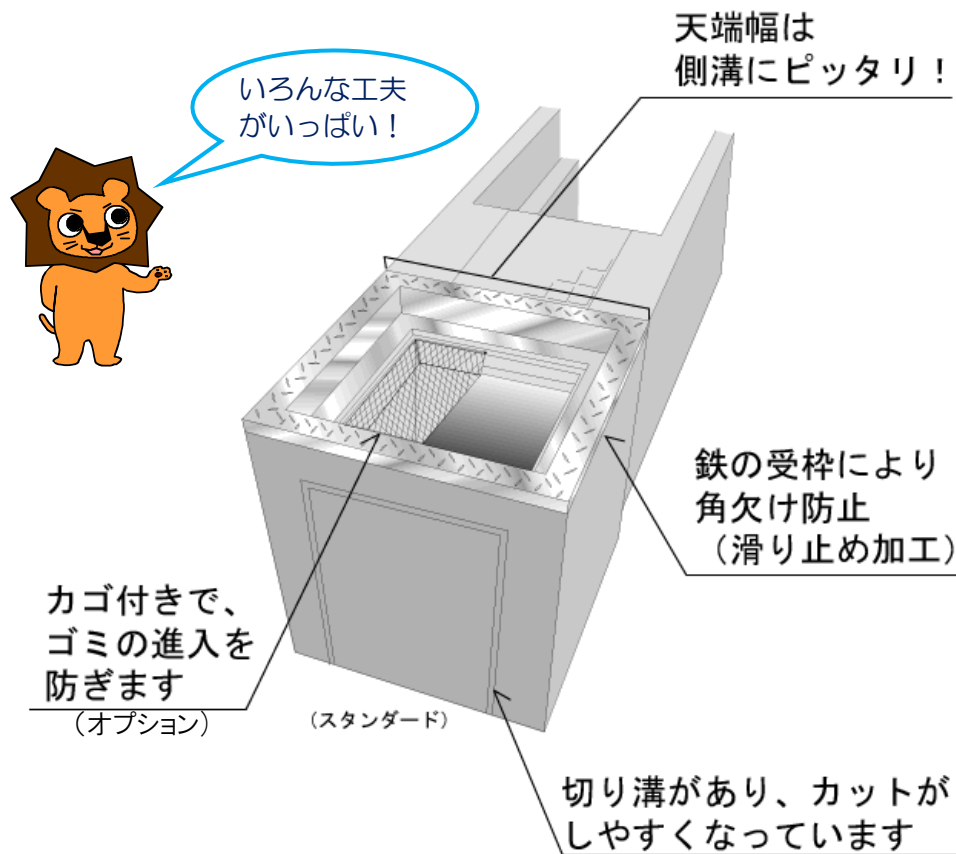
各側溝の総幅に合わせた「HDマス」「PUマス」の2種類を取り揃えています！ぜひご検討ください♪



こんなにスッキリ！



環境に優しく経済的！

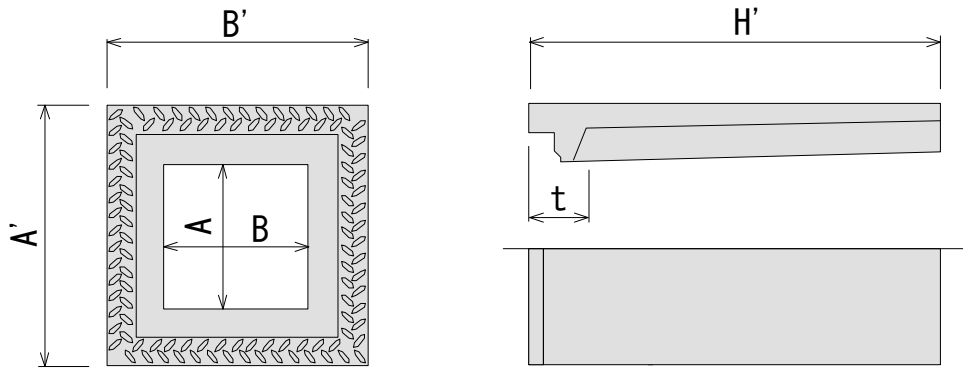


特 徴

- 道路側溝のほとんどの規格に対応します。
- 自由勾配側溝、U型側溝と総幅が同じでマスの張り出しがありません。
- フラット側面は側溝の取り付けが簡単で、切り溝があり、カットがしやすくなっています。
- 鉄の受枠により角欠けしません。（滑り止め加工）
- ゴミカゴが簡単にセットでき、ゴミをマスの中へ落としません。
- 型枠工不足を解消するとともに、現場打ちに比べ大幅な工期短縮ができます。

製品寸法

- HDマス
⇒HD可変側溝・自由勾配側溝対応
- PUマス
⇒道路用側溝対応



呼び名	HDマス 規格寸法 (mm)							PUマス 規格寸法 (mm)						
	A	A'	B	B'	t	H'	参考重量 (kg)	A	A'	B	B'	t	H'	参考重量 (kg)
300×300×600						660	196						600	164
300×300×800	300	500	300	500	140	860	245	300	520	300	520	135	800	211
300×300×1000						1060	293						1000	311

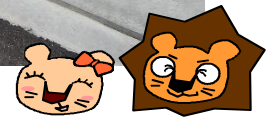
※その他の規格等 お気軽にお問合せください。
 グレーチングは用途にあわせてご利用頂けます。(110° 開閉、ボルト固定、普通目、細目など)



▲ かんたん側溝(落ち蓋タイプ)との組み合わせ



▲ かんたん側溝(固定蓋タイプ)との組み合わせ



♪ 建設技術センターまつりに出展します ♪

昨年に引き続き、今年も建設技術センターまつりに出展します！
 コンクリートアクセサリやスマートフォン用スピーカーなど、様々な製品を展示予定です。
 参加賞付きクイズラリーでは、コンクリートでできたスマートフォンスタンドが当たるかも！？
 是非ご来場ください♪

詳しい内容は、建設技術センターホームページか、QRコードからアクセス☆

日 時：2019年10月20日(日)
 10:00～15:00 (雨天決行)
 場 所：公益社団法人 鳥取県建設技術センター
 〒682-0018 倉吉市福庭町2-23
 電話番号：0858-26-6051

